

冬の季節風吹き出し時における GPS 可降水量の日本海岸と太平洋岸のコントラスト

Geographical Contrast of PWV Distributions between Sea of Japan and Pacific Ocean Sides of Central Japan in Winter by GPS data

上原 恵 [1]; 鈴木 力英 [2]; 近藤 昭彦 [3]

Megumi Uehara[1]; Rikie Suzuki[2]; Akihiko Kondoh[3]

[1] なし; [2] JAMSTEC・地球フロンティア; [3] 千葉大・環境リモセン

[1] none; [2] FRCGC, JAMSTEC; [3] CEReS, Chiba Univ.

<http://dbx.cr.chiba-u.jp/>

冬季の季節風影響下での水蒸気の動態を見るために、2002年1月の中部日本における可降水量の解析を行った。解析には国土地理院のGPSデータから作成されたGPS水蒸気データベースの3時間ごとの可降水量データを使用した。西高東低の気圧配置時には、日本海側では太平洋側と比べ相対的に可降水量が大きいという分布のコントラストが認められた。日本海側と太平洋側の可降水量の時系列変化を調べたところ、このコントラストが西高東低の期間中継続していることがわかった。また、雪が太平洋側への吹き越す地域では可降水量が相対的に大きくなる傾向も見られた。